

## 2.5 まとめ

東北地方太平洋沖地震の特徴および影響と水道施設への影響の関連を整理したものを次図に示す。

東北地方太平洋沖地震では、非常に広い範囲の断層が破壊し、また破壊継続時間が非常に長かったため、広域的に大規模の地震動および液状化が発生するとともに、断層が太平洋沖に位置していたため、大規模の津波が発生した。さらに、本震の規模が大きかったため、余震の規模も大きく、それによる地震動も大きかった。そのため、東北地方・関東地方を中心として水道施設は、大規模の地震動、地盤崩落、液状化等の影響を受けるとともに、大規模の津波を受け、甚大な被害が生じた。

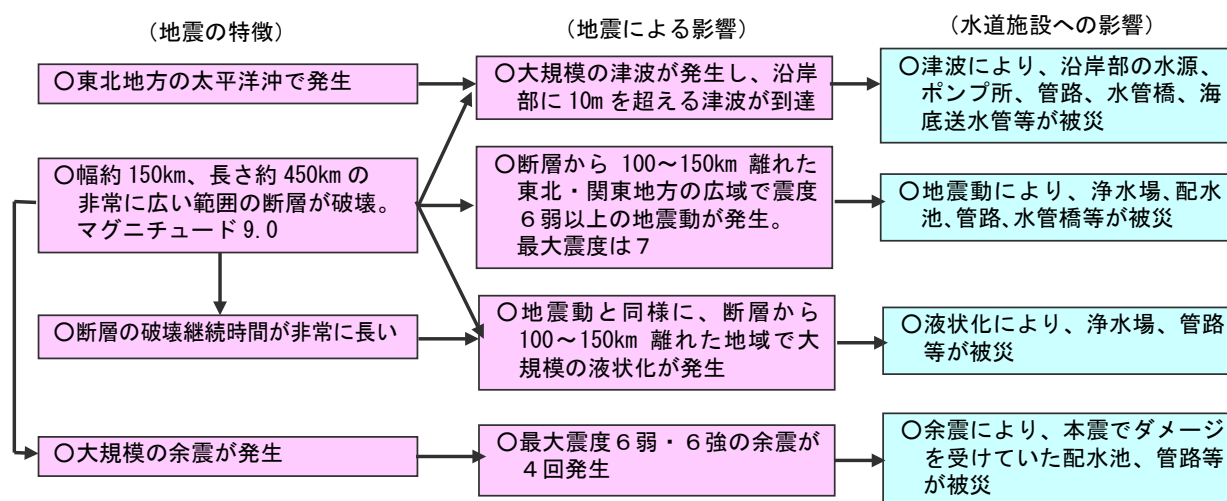


図 2.32 東北地方太平洋沖地震の特徴・影響と水道施設への影響